



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この学習を通して、戦争は誰のためにあるのだろうか？と疑問に思いました。なぜなら、勝たず土地や物づくりお金のもらえないから、しかも、そこで亡くなった人や原爆の災禍で亡くなった人たちは、もう二度と戻りません。しかも、戦争を始めたのは一部の人間だけなのに、それにより、罪のない人たちがとんとん死んでゆくのです。原爆は、爆心直下は3~4000℃で、すぐに焼け死んでしまいます。また、その原爆で生きたとしても、皮膚がやけどをし、体がマわるのも痛い。さかるとはかかれてしまうなど、とても苦しい思いをするばかりです。つまり、いいことなどはひとつもないのです。

もう一つ、思ふことがあります。それは、長崎、広島であった悲劇を他の国でも起こさないことです。原爆は表面温度が7000℃ととても熱いです。しかも、痛いと感じる前に死んでしまいます。また、きのこ雲は空気がほつれ、そこから出てその部分に熱いものが、空気がまた流されてきます。その層にたつた時に、横に広がるのです。授業で見せてもらった時は、びっくりしました。それは、四国山地から見た（マツカ）のに、まっすぐ下っていて、とても大きかったです。しかも、それは黒や、おどろき色だと聞きました。その後の死体は、おどろきと悲しいことだと思います。

日本はたくさんの悲しいことがおきたので、もう二度と起こしてはならないし、戦争も数年後にはなくせたり、いいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「ドーン」原爆先生がマイクでそれを言。ただけで、とてもおどろき、怖か。たです。そう思うと、実際に原爆を体験した人はどれだけ怖か。たのかが少しだけ分か。たような気がします。そして、私は原爆のことは多少は分か。ていると思。っていましたか、全然分か。ていなか。たのだと実感しました。

原爆を実験をするためだけに日本に落とされたのだろうか、人の命がどうなるか考えなか。たのか、他の国だから関係ないのか、過去のことであり、もうどうしようもないし、体験をしたわけでもない私がいうのはおかしいかもしれな。いけれど、原爆なんて落としてほしくなか。たです。た。て、これから先の未来があ。たのに、一瞬にしてこわされてしまったからです。罪のない人たちが苦しみにたえながら亡くなるなんておかしいと思。います。

原爆で亡くな。てしま。た人はどうしてほしいのた。らうと考えました。答えは分か。らな。いけれど、二度と同じことにならな。いようにすることが、一番望んでい。ることなのではな。いかと思。います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆先生の特別授業を受けて、原爆の悲惨さ、被爆者の苦しい思いが伝わってきました。

原爆については、授業でも少しや、たため、多少知っていることもありましたが、今日初めて矢口のことたくさんありました。実体験した人の物語をきくと、とても苦しかったことが伝わりました。軍の人が死体を片付けるというとき、何万人もの死体を片付けるというのには、ていこうがあったと思うけど、なしとげたということに感動しました。もし、私が広島にいて、原爆で苦しんでいる人を見たら、感情をなくしてしまうのではないかと、思うほど、恐ろしいことだと思います。熱線は太陽よりも温度が高いということを知り、想像できないほど衝撃でした。やけどをして、皮膚がはがれたりする姿を見た、軍の人は、どれほど苦しかったのか、資料や話を聞いて、深く理解できました。

今日約90分間の特別授業を受けて、原爆や戦争のような人を傷つけないことは、今後、いささないようにしたい、と思う気持ちが高まりました。実際に体験していないからといって、知らないままにいるよりも、知って、過去の過ちをおこさないようにすることがとても大切だなと、深く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について調べたときにこかいなと思いましたが、先生のお話を聞いてそんなに甘ったかいものじゃなかったと思いました。

こかい、おそろしいではたりませんでしたが、私がお話を聞いてこかい、おそろしいと思っただけ、もっと強く強く被爆者のみなさんは思っただろうと思うと、今の私にはおにもできないのがくやしくなります。現在原爆ドームと読ばれている下7つのも本来は、広島県産業奨励館と言う名前だったり、そこかの家族が住んでいた家も今はなくなつて別の家族が住んでいます。昔の広島がもうなくなつていよう少しさみしいです。また私は、原爆を受けた人がへっていることがとてもたいへんな問題だと思ひます。なせかと云つと、原爆のこわさを教える人がへつてしまうからです。原爆のこわさを教える人がへると、おそろしさという物をわすれてしまう人がつてきます。それは、いままでお話ししていたごいた全7の被爆者さんに失礼だと私思ひしています。いままで私が感じたどんな悲しいことも、どんなきょうふいも、どんなけがも全7原爆を受けたみなさんの悲しいこと、おそろしいこと、けがのほうわ大きかったと思ひます。私がいままで自分が一番さいなんだと思つたことがありましたかそんなことはいないなとあらためて思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/8

今日、私は、原爆先生の話を聞き、たった一発の原爆で、
数えきれない人が命を落とし苦しんだという事がよく分かりました。
私は、今まで生きていく中で戦争、原爆という言葉をとくさん聞いて
きました。しかし、戦争、原爆について深く考えたり知ろうとする事は
あまりありませんでした。でも、今回の話をきっかけに今後戦争をな
くしていくために私には何が出来るか考えていこうと思います。

今日、一番心に残った所は、軍隊の方々が原爆で命を落と
した人々の死がいを片づけていく所です。皮ふがただれて倒れてい
る姿を想像するとさんみすぎても悲しい気持ちになりました。
しかし、その現場にいる軍隊の方々は、絶対に私より悲しく苦し
んでいるのに何一つ文句を言わず死がいをおぶるというのはとても
すごい事だと思いました。戦争なんかなければこんな事は起きな
かた。きっとだれもがそう思っています。こんなに苦しくて悲しく
ても前を向いて行動していかなければいけないのです。たった一発の原爆
で起こった悲劇、今でも戦争で家族をなくし苦ししい思いをしている
人はたくさんいてこの悲しみは永遠に消えません。戦争なんか
なかったら今ある数々の悲しみなんてありませんでした。もうこんな事
はあってはいけない、そう心に聞かせながら私は戦争をなくす
には何が出来るか考えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆のおそろしさを知りました。

原爆は、1945年8月6日に初めて広島に投下されましたが、候補に挙がっていた都市がいくつもあったこと知り驚きました。

また、当時、広島市の人口35万人に対して死者数が14万人で、死亡率40%だと知り驚きました。そんな高確率で死に至ってしまう原爆は恐ろしいなと改めて思いました。

また、原爆によって出た放射線を浴びて、今もなお、原爆症に苦しむ方々がいらっしゃるということにも原爆の怖さを覚えました。

このように、原爆の様々な面での恐ろしさを今回改めて覚えました。そして、原爆を体験してしまった方々の辛い気持ち伝わってきました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日初めて原子爆弾についてくわしく教えてもらいました。知らないことばかりでびっくりすることもあったけれど、聞くことが私がいちばんおどろいたのが、表面温度が7000℃で、太陽の表面温度より高いということです。太陽はとてもあついイメージも強いのでそれ以上だと思つくと背筋がゾクッしました。このように、おどろいたことがこれで、次に、いちばんゾクッとしたのが、足の包帯をむく(とる)というところで「うじ虫を少しずうとっていてやる」というところでした。激痛なはずなのに涙も流さないこん情がすごいと言っていたけれど、私なら無理だったと思うので、おどろきました。

このように、原爆についてくわしく知ったり、人から話を聞くのは始めてだったのでおどろくような出来事もあったけれど、重要なことが学べた気がします。そして、原爆ドームにも行ってみたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆のおそろしさが分かった。特に印象に残った話が、ひばく者のじょうたい。ちょうへいか・救いの手をさしのべているのに、ひばく者は皮ふがやぶれる苦しさにたえかねてしまっているという話。私は皮ふがやぶれるなどという異常なじょうたいになったことか、ないのて分かりないうが、すごい苦しいことか分かった。よく見る原爆にームもでていた。(正式名は広島県産業奨励館)広島県産業奨励館は真上から熱線としょうげきはを受け、屋根などがボロボロにこわれてしまったという話があり、私は本当にこわくなった。毎秒440m、音速よりも早い衝撃波の速さ。原爆は、衝撃波が聞こえた後に爆発音が聞こえ、その後にはもう、消えてしまっているらしい。その中には、骨になってしまった人もいるらしい。くうせん、150m先でも、かんじょうに作りえた電話局の地下のトイレにいたし助かった人もいた。という話もあったが、私はその人がその後どうなってしまったのか、こわくなってしまった。水蒸気が上にあがり、ひやさか、強い雲となり、成層けんまで来て、その雲が原爆となる。死亡率は40%。原爆病に苦しむ人もいた。私は原爆のおそろしさを、あらためて知った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の受講を受けて、本当にすごい話だな、ほんとの話なのかなと思いました。私がとくに印象に残ったのは、「7000°Cの少年」です。このお話を私は、自分た、たらどうするかなと想像しながら聞いていました。中でも私が一番印象に残っている所は、元安川の所です。あんなにつらい事をよく投げださず、逃げださずできたなと思います。私た、たらきと、逃げだしてしまいます。17才なのに、陸軍舟台、舟特別幹部候補生になり、そんなに強い精神をもっていて、義三さんは本当にすごい人だなとたびたび思いました。義三さんだけでなく、班王のみなさん、とってもすごくて、尊敬したいです。私は原爆のことを、兄から教えてもらったりしていたので、知っていたつもりでした。でも原爆は、私が想像していた事より、と悲惨で、あつはならぬ事でした。こんな事がもう二度と起らないような、そんな世の中にしたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、原爆先生の話を聞いて原子爆弾戦争をなくし平和を実現することが大切だと分かった。聞く前はこういうものか、中々分らず「危い物」というだけの認識だった。しかし、原爆先生の一声一声に当時のつらい思いのこもった迫力のある話を聞く内にそのおそろしさを知った。Eノラゲイから投下された原爆「リトルボーイ」は爆発後、表面の熱さ7000°、内部の熱さ100万°で太陽よりも熱いことを聞きおどろいた。熱せん、衝撃波、放射線が広島をおそい、中には一瞬でこの世を去った人もいた。この原爆を落とす者陣の候、京都があったが落とされなかった理由は「200年以上前からある都市で人類にとって重用だから」。許せない。京都はダメ。だから、て広島？おかしすぎる。どうも人類にとって重要なはずなのに。また、義三さんが平和記念資料館を訪れた際に、被爆した人の人形を見た時、「きれいすぎる」と言ったことが忘れられない。かつて被爆した人だけがその苦しみを知っているのだ。今後何があろうとも、絶対に原子爆弾を落としたり戦争をくり返してはならない。絶対に。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/4

今日原爆先生の特別授業を受講して、さまざまなことを学びました。

お話を聴いて最も印象深かったのは、爆心地の温度が100万℃近くもあることです。太陽の約166倍もの熱さに相当すると知って、おそろしくなりました。

池田義三さんが17歳のとき兵隊になったと知り、若くに兵隊になることはすごいな、と思いました。義三さんは自宅に戻る途中に苦しむ人を助けた、と聴いて、自分が安全に生きることよりも誰かを助けることを優先させている、その優しさに感動しました。

もし私が生きているときに戦争が起きたら、義正さんのようにけがしている人を背負ったり、避難できていない人を助けたらして、他の人と協力して生活していきたいです。

今日の学習を通して、戦争のない平和な世の中をつくらなければならない、と改めて強く思いました。今日はお忙しい中、戦争について教えてくださいありがとうございました。



私は原爆先生のお話を聞き、戦争の恐ろしさを改めて実感しました。そして、もう二度と戦争が起きること、原子爆弾が降下されることはあってはならないと思います。

私が一番印象に残ったことは、原爆の被害を受けると、人間が人間ではないような姿になってしまうということです。「やけどで皮膚がただれ、皮膚がはがれていってしまう」ということを聞いた時は泣きそうでした。私は人が一つの爆弾で人間ではないような姿になるなんて思いませんでした。広島や長崎の被害は想像を超えるほどのものだと分かっていましたが、改めてお話聞くと「こわい」「恐い」だけでは表現できません。そして、被爆された方の数は24万人で、全員手あてをしたり、身元を確認せずに茶毘にふすしかないという話もむねがしめつけられました。

今回は貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。私は二度と戦争などの悲しい歴史を作りません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受けて、原爆とは
いつ起こるか分からない怖いものなんだなと思いました。
なぜなら、池田さんが口で音の表現していた時に、
いきなり「バンッ」といって、とてもびっくりしたからです。
話を聞き、想像しただけでも震えが止まりません
でした。また、焼かれて死んでしまふ人々がたくさん
いて、それでも生き延びるために、痛みを我慢しながら、
危険な場所から安全な場所へと逃げている人々の
事を考えているだけでも、必至になつて、頑張っている
様子が伝わりました。それから、死んでしまふ人の
話を聞いていたけれど、よく、戦争の話になると死んでしまふ人の
「家族の思い」などの話を聞くことが多いです。
でも、死んでしまふ人を焼却した自衛隊の人も、
別の悲しい思いがあったという事に気づきました。
そして、広島の中での35万人の中で4万人もの方が
死んでしまったことを残念に思いました。
これほどの命を落してしまう原爆の歴史をしっかりと
心に刻みつけて、これからの生活を大切にしていきたい
です。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/8

前に原爆のことを少しだけ授業でやったことがあったので良く知れて良かったです。
原爆がおとされたのは広島と長崎というのは知っていて、でも他に候補があったというのはびっくりでした。しかも、候補に横浜があ、「もし横浜だったら...」とか他の県だったら...」と考えるのはおそろしいです。自分で文章を見て想像するのと話をきいて想像するのと少しちがくて話をきいて表現の仕方だったり話し方で想像するのはちがうので、色々なことが想像できなくて良かったので良かったですなと思いました。色々な人々が助けを求めているのに助けてあげられないは自分でも悲しい、人がどうかも分からない人々が沢山いたという事は原爆はとってもおそろしい物だしそれが人口物ということがすごく悲しかったです。特にびっくりしたのは太陽の表面温度は6000°で原爆の表面温度は7000°。太陽よりも温度が高いことが衝撃的でした。
本当に約90分間のお話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、「原爆」についてあまり深く考えたことがありませんでした。また、知るきっかけも今までありませんでした。でも、今回の原爆先生という授業をきっかけに私の考えは大きく変わったなと実感しています。広島で起こった悲しい事実について思ったことや考えたことを二つ書きたいと思います。一つ目は、たくさんの方が犠牲者になったということです。とう時の広島の人口の40%が死んでしまったと知り、とてもおどろきました。想像以上でした。こんなにもたくさんの方が死んでしまったんだと考えると原爆という存在がとてもおそろしく感じました。二つ目は、人いいたいさん、目かけて、目かけてと言っていた人達のことです。私はこの言葉がとても印象に残っています。体中の痛みにたえながら言っていたことを想像すると本当に悲しいくらいです。生きることが何よりも大事なことで、命がどれだけ尊いものなのか改めて考えることができました。今日は、約90分間、大切なお話をしていただき、本当にありがとうございました。私は、せくなった人達の思いが今日考えたこと糸色文に忘れません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日の授業で原爆の怖さを改めて知りました。「原爆」という言葉は何度も聞いていて、たくさんの方が亡くなったということは知っていたけれどさらに詳しいところは知りませんでした。怖いなと思ったことはあります。1つ目は、一瞬にして何十方もの命をうばってしまうということです。何も悪いことをしていない人も死んでしまう。そんなことは、今後絶対にあってはならないと思いました。2つ目は、7000℃もの高温になったということです。太陽の表面よりも高い温度になったら、川に飛び込むのも当然のことだと思いました。

このように原爆の怖さを知り、もう二度と起きないでほしいと思いました。また、どんなに辛くても生きのびようとした人たちもとてもすごいと思います。今私にできることは、そのような人たちの思いを背負い、幸せに生きていけることに感謝して生活することだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分が何か体験していない事には実感がいけない。
 原爆もその一つでした。だけど、今日の授業の話を通して、より
 詳しいことを学べたと思います。私は、音がスピーカーから出た
 時、思わず耳を防いでしまったけど、本当はもっと想像出来な
 い様な光景と音じゃないかなと思いました。原爆の元々の原
 因は戦争のせい。戦争をおこしたのは私達人間。人間同
 士の争いで結局残ったのは、人々の死と後悔。原爆はその事を
 伝えてくれた。生きていた人も、跡型も無く一瞬のうちに消えて
 他の方も、熱線、放射線を炭化するか沸騰するかで、生きて
 いた意味をなした。私がひどいと感じたのは熱線と、
 一瞬で消えた人じゃなく、放射線とかで。じわじわと亡くなった
 ことです。もしかしたら、状況を把握をする間もない内に消
 えた人々の方がとどいと感じてはいると思いますが、助け
 られる術も無く放置されて、誰かも分からぬ程の熱で、亡くな
 った人は苦しむのがら老くなりました。7000℃の少年が投下され
 た日の出来事を知っている人の話を聞けるのは私達の世代で
 最後と言わねばなりませんので、知ったこと言われたことを人に受け継ぎがら
 わねようにしたいです。また今日の授業は日本だけではなく世界にと。
 ても大事な事なのでしっかりと心に刻んでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

歴史のマンガを読んでいるとき、原爆が広島や長崎に落とされたことか、書いてある本を読みますか、その時は「大変だったんだなあ」としか思いませんでした。しかし、今日の授業を通して原爆というのはとてもこわいもので、もうこのようなことかあ、ではなれないと思いました。今日の授業を受講しても分からない点か一つだけあります。それは、なぜ「日本」にだけ原爆を落としたのかということです。私の勝手な考えですが、その理由はアメリカが原爆のい力を知っていたのかなと思いました。そうでなければ、たまたこの1発で14万人もの命が失われるような惨いことかできるはずかかないかと思いたからです。私が一番驚いたのは、原爆の熱線が約7000℃だということかです。太陽の表面温度が6000℃だから...と考えると恐いことかになります。だから、原爆ドームが残ったのも奇跡たとしか思えなです。これで終わるならまた良いのかですが、放射線というものかあります。放射線のせいで、今も苦しんでいる人はたくさんいます。そんなことを理解して原爆を投下したのかでしょうか。歴史上にある「原爆」が私の中で、少くも変わってきました。もうこのような悲劇は、世界中でおこらないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆について深く学びました。
まずはじめに90分間学んだことが一番心に残ったことを話します。それは、義三さんの体験したことです。原爆はドラム缶にかくれている義三さんを10m後ろまで引っっぱしたことを聞き、びっくりしました。引っっぱの爆弾であつたらドラム缶がかたはぶされることにはなはいと思ひますが、原爆は爆心地から少しはなれている義三さんたちを10m引っっぱしたと思ひと、爆心地にいた方々はおら言葉にひきひいほどの悲しみと苦しみたつたと思ひます。爆発音があり、そして高熱(7000℃)お風呂の温度が約40℃なのですが、40℃でも熱いとなると、もう考えられひいほどの熱だつたのでなと思ひました。爆心地に近づくほど人の形じゃひくひくる人々、皮の皮肉ごとはかされる人、助けたいと言ひう人、自分だつたら、たえきれひいほどの苦しみたつたと思ひます。原爆は一しゃんの内にほとんどの人々を殺してしまいました。こんな無意味な出来事を二度とおこしてひいけなはいと思ひました。ほくは実さいに戦争をけいけんしていませんが、このお話の内容、そのおそろしさを、次の世代に話したいです。原爆先生、ありがとう ございしました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回の授業で原爆の恐しさ、そしてこれを二度と繰り返してはいけないということを改めて強く感じました。原爆が爆発した時、原爆の表面温度は7000℃になっていたといいますが、地上600mに太陽があるようなものでした。そう考えると、ぼくは原爆が思っていた以上に怖いものだと思います。あの一瞬で、14万人、たくさんの命が消えてしまいました。一つの小さな爆弾のせいでは……。

池田義三さんが残してくれたものとは……。ぼくは、やはり、「原爆はこんなにも怖いものなのだよ」ということと、「これは、二度と絶対に繰り返してはならない」ということだと思ふ。このことを次の世代、次の次の世代へ伝えていき、戦いのない平和な世界をぼくらでつくりたいと思います。

「誰もが平和に笑い合える
世界を求めて」